先人たちの軌跡

和寒駅を開設。

(現宗谷本線)

が和寒まで開通

剣淵屯田337戸入植。

鉄道天塩



明治32年に開拓の鍬がおろされて以来、先人たちのたゆま ぬ努力により、今日の利寒町が築き上げられてきました。 平成21年には『わっさむ110年』を迎えることとなります。



塩狩峠を上る蒸気機関車

▼明治38年

和寒簡易教育所として独立

(和寒小学校の前身)

が1学級33人

明治30年

事の雑務や人夫相手に馬宿や飲店風 のものを営む。(和人移住のはじまり) **朔**治32年 秋田県の人、菊池伊七氏が鉄道工

◆明治33年

庶務主任の長野政雄氏が和寒塩狩間

明治42年

ペオッペ特別教授場

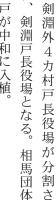
(西和小学校

開設。

旭川鉄道運輸事務所

幌加内道路が幌加内まで開

家8戸、鉄道官舎7戸。 される。この年の和寒市街戸 ペオッペ原野の殖民区画地が設定 民



▼明治35年

6戸が中和に入植 ***明治36年 朔**治37年 剣淵尋常高等小学校和寒分教場 夫婦岩を発見 剣淵戸長役場となる。



謝するとともに、今後の和寒町の継

承と発展を願うことのできる1年と

なるよう、

110年の歴史について

ご紹介していきます。

度振り返り、

先人たちのご苦労に感

今日の和寒町を築き上げてきた

寒町がどのような歩みを続 年という長い歴史

110年という機会にもう一

1

0 な

明治36年剣淵屯田飲料水給水溝掘削工事



明治39年頃の和寒駅前

して水稲試作。 施行され、 ¥明治40年

教授所(三和小学校の前身)が開設。 (中和小学校の前身)、 明治41年 中和の湧井藤七氏が湧き水を利用 和寒第2簡易教育所 和寒第3特別

▼明治39年

和寒郵便局が開設。2級町 剣淵村となる。 村制

(5)広報わっさむ 平成21年1月号

らの分村期成会を結成。 飼育(酪農のはじまり)。 で殉職。 てきた種子で除虫菊を栽培。 ▼明治44年 •明治43年 小畑藤市氏が、ふるさとから持つ 市街に私設消防組が組織される。 須貝広夫氏が南部牛12頭を 剣淵村か

▼大正3年

致で議決。 剣淵村議会において分村を満場

分村請願書などの書類

◆大正4年 剣淵村から和寒村として独立分 2級村制を施行。

▼大正5年

寒尋常高等小学校東和特別分教場開 教場開設(大成小学校の前身)。和 日本製麻KK和寒工場創立。 教授場開設(朝日小学校の前身)。 ▼大正6年 和寒尋常高等小学校第1期特別分 和寒第2尋常小学校所属朝日特別 (東和小学校の前身)。 帝国製麻

▼大正11年

和寒土功組合設立(和寒土地改良

大正8年

和寒工場設置。

設立。 和寒除虫菊製粉株、 和寒木工㈱が



分村祝賀会旗行列

▼大正9年

西和、東和、 大成で水稲試作始ま

▼大正10年

修三氏が農場用地を買収(松岡農 このころに塩狩鉱泉を発見。松岡

区の前身)。 ▼大正12年

広報わっさむでは、平成21年にわ

設立。 塩狩温泉創業。 村除虫菊販売組合

▼大正13年

村を区域とする和寒信用販売組合設 和寒成蹊会が和寒月報を創刊。 和寒酪農組合結成 全

頃の様子をご紹介します。

ましたら情報をお寄せください。 また、当時の貴重な写真などがあり の軌跡」としてご紹介していきます。 今日までの和寒町の歩みを「先人たち っさむ110年を迎えることから、

次号以降では、昭和初期から中期



分村後大正5年建築の役場



大正14年頃の和寒駅前

▼大正14年

大正15年 西和貯水池、 東和貯水池完成。

参考 国有種馬所和寒出張所開設。 和寒町史·和寒町百年史】